

# ゆめサロン

## 便り

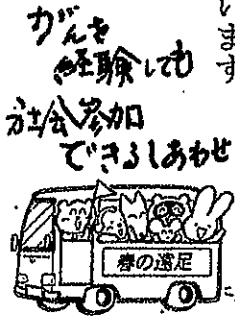
令和 4年  
5 月 28 日  
吉賀町ゆめサロン  
No.516

### 若葉の季節に

皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。次から次へと色んな花が咲いて心が和む季節です。



地域の方がそれぞれの所に花を植えられてその花たちが咲いて終わって、また新しい子孫を残す様子を見ると生き物の世界は皆同じだと思いうちに、鴨長明の方丈記はすでにそのことをいつていることに気付き感心させられます。コロナウイルスのことも嘆いています。遠い昔から細菌との闘いの連続だったようです。こうして今日も生かせて貰っています。



### はな

友達から電話で

「今からお花を持って行くからね」



と言われ心わくわくしながら外に出て待っていると高校の頃と変わらない爽やかな笑顔で花束を持ってきてこれは何という花でと説明してくれるのです。それをにこやかにみて居て下さるご主人に頭が下がります。いつの頃からか続く家のなかにはあちこちに花がいっぱい。生活を感謝する私です。

### ほたる



近所の男性にパソコンの配線を見てもらって、その後で花の話をしているときなり、

「もうほたるがでてくるよ」といわれたので、見にでようということになりました。そういえば私達

### 友達のお祝

#### 6月



友達が八十歳、ご主人が八十歳になり子どもさんたちがお祝をして下さると言う事で私まで嬉しい気持ちになりました。湯田温泉に一泊されて楽しいひと時を過ごされるそうです。お土産話が楽しみです。ほかの友達と「楽しいだろうねえ」と噂しています。

### ささゆり



今年も裏山に一つ蕾が出来ました。去年四本咲きました。今年はどうでしょう。種が落ちたから咲くまでに七年から八年かかるそうです。美しい緑の中に咲くささゆりはほんとに綺麗です。たくさんさいてくれますように。



### たぬき

#### のウオーキング



うちの連れ合いが運動のために歩いていたら、かわいたぬきがチラッとこつちを見てそのまま、連れ合いに負けじとらんかおで前をさつさと走っていったそうです。たぬきもウォーキングが必要なのですね。

# ゆめサロン

## 便り

令和 4年  
6月7日  
吉賀町ゆめサロン  
No.517

### 六月のサロン

#### 定例会



緑の葉っぱが久しぶりの雨に洗われて一層美しく輝いています。

皆様お変わりありませんか。今回は島根医大の看護学校の学生さんが実習にいらしているというので、ぜひご参加いただきたいと思い、第三土曜日に予定していた会を六日の月曜日に急遽変更させていただきました。ご都合もあり出席できなかった皆さまには申し訳なく思います。集まって下さった皆様方には貴重な経験をお話しいただくことが出来て、学生さんたちは大変喜んで下さいました。保健師さんは大きい部屋を準備して下さい、お仕事もある中、ご迷

惑をおかけしました。サロンメンバーの方が

「この会に出席することは同病相扶け」という言葉そのものだ」と言われたとき、自分も気付かされた気がいたしました。もうひとつこの会のねらいは**癒しの会**であることを思いこれからも命ある限りこの会に癒されたいと、今日の学生さんとのふれあいで気づかせて頂きました。ありがとうございます。学生さん達の益々の成長を祈り会を閉じました。



### 七月定例会の予定

七月十六日(土曜日)です。

尚、六月は六日をもってかえさせて頂きます。



### 思い出せば



会の時会員さんの一人の方が、

「病気になって、一番大変だったのは本人より家族だと思ってしまうと言われました。そういえばそうだなあ、と思います。

二か月入院していて帰ってから自分は何しただろうか。と久しぶりに思い出してみました。布団は敷かなかつたけど何時もテレビの前に寝っ転がっていて猫が何時も顔を覗き込んでいました。まさに上から視線です。今思えば猫も不思議だったのだろうなあと思います。

お風呂の時はお風呂に来て、浴槽にいる私を洗い場でじっとみていました。具合悪くなってもどうもできない猫なのに。

また、時々娘が連れて帰る八か月の孫がじーっとみて居ました。どうしてここに寝っ転がっているんだろう。と思つたでしょう。大病を克服したなんて

とんでもない事でした。克服させて貰ったことを今感じます。

遠い所で働いている子供たちに心配かけまいとして知らせなかつた私は愚かでした。死なないと言う変な思い込みがあつたのでしよう。今回の学生さんとの会があつて色々な事を気付かせて頂きました。

猫はもう大丈夫と思つたのでしようか、二十一歳で旅立つて行きました。ある子と言う名前でした。家族、遠くにいる子供たちに今感謝します。遅いけど。

### あかいばら



この前、書きました赤いばらが次々と咲いていま花盛りです。

カラスが大きな羽音を響かせて見に来ます。まさに赤と黒綺麗です。



# ゆめサロン

便り

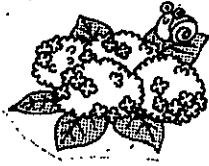
令和 4年  
6月25日  
吉賀町ゆめサロン  
No.518

## 皆様こんにちは



お元気にお過ごしのことと思います。雨に洗われた木々を見るたびに、緑がこんなに綺麗なものかとあらためて感心する今日このごろです。この季節白鷺が悠々と飛ぶ姿はまた格別ですね。サロンの集会でお会いする日を楽しみに今日も生かさせて頂いている私です。

## 紫陽花は



紫陽花の花が美しく咲いています。咲き始めの紫陽花は白いのが多いですね。初めから白くて時がたっても白いのもあります

## 頂き物で しあわせ



私より2年下のスーちゃんと言う妹の友達が付けたたましい声で、「なんか入れ物を出して、梅を炊いたから持ってくる」と言うのでジャムの瓶を渡すと「こんなこまいものはいけん」と片づけていそうなどころの戸を開けて大きな保存ビンをもっていきました。楽しみです。

そういえば昨日は、旅館のおおかみをしている友達が美味しいうちらし寿司や野菜などをくれて何もしないで食べられたし、この前はコロツケを作って持ってきて下さった方やで薬をさせてもらっています。だから私は太るはずです。

その昔、子供たちが学校で買った沙羅双樹の清楚な花が咲き始め、時折吹くすずかぜに揺れているさまを見ながら幸せを感じスーちゃんが来てくれるのを待っています。

## 早々と 梅雨明け



今年は六月二十八日には東北地方を除いてほとんどのところで梅雨あけたようです。東北地方の南部も二十九日には梅雨明けしたようですが、未だタチアオイは派手に咲き乱れ色も形も様々な紫陽花は今を盛りと咲き誇っています。この花たちはこの先どうするのだろうかと心配するのは私だけでしょうか。

## 黒ホウズキ



少し前のことですが、うちの子供が小学校の頃にお世話になった先生が黒ホウズキの種をもつて来て下さいました。梅雨を過ぎたころから薄紫の花を咲かせてくれます。

とても優しい気持ちになる花です。今年もそつと咲いてくれることでしょう。



## 読書

このところ落ち着いて本を読む事がないのですが病院通いも一段落ついたので、子供たちに夫が買ってやった本を読む事にしました。先ず、徳川家康(全十八巻) 作者は山岡宗八です。全部読むまで命が続くかどうかわからない年齢ですがとりついてみることにしました。きっかけは徳川家康が言ったという

『人生は重き荷物を負うて遠き道を行くが如し、急ぐべからず、不自由を常と思えば不足なし』

頑張っている時だけ思い出して他はほぼ享樂的に生きておると息子が言ったのでそう言えばそんなことばがあつたなあとと思ひ、読む気になつたのですが先日九十二歳になつた人が言われたのは、

「のほほんといきてきたがすぐに九十二になつたよ」

と・・・どっちも本当ですね。